

事業概要説明シート 事務事業番号 31036

事務事業番号 31036

事務事業名	文化振興事業		
事業開始年度	平成21年度～	担当部署	地域振興部文化観光課

根拠法令													
実施方法	■直営 □委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)												
	□その他()												
目 的 (何のために)	市民が文化・芸術に触れる機会を設けることにより、文化・芸術活動の活性化を図る。												
対 象 (誰・何を対象に)	市民												
事業内容	①アートスポット設置 本館一階で市の所蔵作品を中心に、毎月作品を入れ替え展示 ②ひらかた将棋イベント 小中学生を対象に枚方市にゆかりのある佐藤王将ほかプロ棋士による将棋教室を開催 ③漢字文化祭 朝鮮半島から漢字を伝えたと言われる王仁博士の墓とされる大阪府史跡“伝王仁墓”があることにちなみ、小学生を対象に漢字クイズ大会を実施 ④くずはアートギャラリー企画展開催 枚方市・枚方市文化国際財団・京阪電鉄の三者で運営するくずはアートギャラリーにおいて、年に1回三者企画展を開催												
類似事業													
事業の必要性	文化振興事業については、文化・芸術人口の裾野を広げ、市民の文化・芸術活動の活性化を図るために必要である。												
コ ス ト													
		H22年度決算				H23年度決算				H24年度当初予算			
		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員	1.00	人	8,114	千円	1.00	人	8,090	千円	1.00	人	8,000	千円	
再任用職員		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円	
非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円	
人件費計(A)			8,114	千円			8,090	千円			8,000	千円	
直接経費(B)			641	千円			632	千円			592	千円	
総事業費(A+B)			8,755	千円			8,722	千円			8,592	千円	
財源内訳													
		H22年度決算				H23年度決算				H24年度当初予算			
国庫支出金				千円				千円				千円	
府支出金				千円				千円				千円	
受益者負担 (使用料等)				千円				千円				千円	
その他	605		千円		620		千円		586		千円		
一般財源	8,150		千円		8,102		千円		8,006		千円		
平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容										金 額		
	将棋イベント開催経費(報償金350、消耗品費9、食糧費6、印刷製本費38)										403 千円		
	漢字文化祭開催経費(報償金135、消耗品費88)										223 千円		
	アートスポット設置経費(保険料6)										6 千円		

事業概要説明シート

事務事業番号 31036

事務事業名		文化振興事業			
事業開始年度	平成21年度～		担当部署	地域振興部文化観光課	
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
	① 事業実施回数	事業	4	4	3
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費／事業実施回数	円	2,250	2,223	2,875
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	より多くの市民に文化・芸術に触れる機会を提供を図る。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)					
特記事項	①アートスポットは市民課ロビーにおける本館エレベータ設置に伴い平成23年8月より休止している。 ④くずはアートギャラリー企画展開催については、京阪電鉄、枚方市文化国際財団、枚方市の3者で開催するものであり、人件費以外の開催経費については、枚方市文化国際財団において負担を行っている。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	今後も引き続き文化振興事業を継続して実施する。			
一次評価結果	・取り組み内容の改善が必要ではないか				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	アートスポットについては、設置場所が狭隘で、かつ作品の管理上も問題があるため廃止した。今後はくずはアートギャラリーの入口のショーケース等で市の所蔵作品を展示する。 将棋イベントについては、平成24年度からは予選と本選を1日で行い、トーナメントと初心者講座を分け、参加しやすい環境を作るとともに、効率的な運営に努めた。漢字文化祭についても、同様に効率的な運営に向けた改善を図るほか、事業の効果について精査していく。			